

## 【中城村農業委員会ヒアリング】

日 時：R1 年 11 月 21 日（金） 場 所：中城村役場  
出席者：○農業委員会 ○企画課 ○㈱エスティ環境設計研究所

打合せの目的：計画書の各課回覧について

- 農業青年の就農支援においては 10 名前後が新たに農業を始めた。新しい事業などの取組みを進めるなど、一定の成果は出ている。
- 有休農地を人に貸すということに対して、認識の違いをはじめとした様々な問題がある。何年も放置され状況のひどい農地を借主のほうで開墾するというのは厳しい。既に樹木が根を張りかなり生育しているような農地も散見される。こうした荒廃した農地であれば貸してもいいと言ってくる傾向はある。
- 農地を貸すことで、返ってこなくなるのではないかという誤解がいまだに根強い。そうした不安を解消するために、農業委員会が仲介に入り、さらには農地中間管理機構等の活用もあるという説明をしているが、理解してもらえない。これについては、何回も足を運ぶ必要がある。
- 農家の高齢化が進んでおり、農業できない状況が生まれ続けている。さらに、後継者がいないことから先行きも不透明だが、もしかしたら子どもや親せきが使うかもしれないという漠然とした理由で貸さないケースが多い。また、以前貸したら返ってこなかったケースもあり、地主が懐疑的になっている場合もある。
- 遊休農地の問題は、その農地だけの問題ではなく、大木が育ち原野化することで、猫やネズミといった小動物の巣となり、結果として周辺の畑に迷惑をかけているということ。この問題構造に、地主が気づいていないというケースが非常に多い。周知が必要。
- こうした根本的な話をしないといけないが、高齢者農家の理解を得るのは難しい。しかし、例えば遊休農地の場合には、半年、3ヶ月に1回でも耕す。自分で無理なら親戚、息子がやってもいい。とにかく除草対策をやらなければ、周辺に悪影響を与えることを理解してもらおう。
- 後継者の育成が課題である。現状は農家収入で生計を立てることが非常に困難になってきている。
- 土地の流動性の観点から言えば、農業委員会を通さない、いわば闇貸貸の存在はあると思う。把握できていない土地の貸し借りはかなりあるはずだ。
- 販路の開拓は大きな課題である。
- 農家所得を増やしていくために作付け作物についても、サトウキビから紅芋への大規模転換など、少しでも収益性があるものへと転換して行くことが必要。
- 専業農家はほとんどいない。また兼業でも第2種兼業が多い。（農業収入の方が少ない兼業農家のこと）。
- ざっとした資産になるが、家族が農業で食べていくためには、最低でも売り上げで500万円、利益で300万円ないと厳しい。サトウキビの場合この水準を満たすのは不可能。
- 菊栽培が最盛期を迎えていた昭和60年代は、農協出荷で15億くらいの農産物収入があった。菊で5億、野菜で2億、サトウキビで40000t、8億。さらに、菊は太陽の花で1000坪以上あり、その収入が3億、その他入れると全体で23億くらいあったのではないか。
- 当然、畑の賃貸料も高くなり、坪400~500円をつけていた。ちなみに現在は坪50円程度である。何が言いたいかというと、儲かる農業をしないと後継者は出ないということだ。

- 現在の中城村において、出荷量の上位は、一番多いのはキャベツ、次いでハウストマト、島にんじんとなっている。この3つで全体の出荷量の7割を占めているはず。
- 島大根が減っている。青首が流通してから、料理にしやすいという理由で島大根は敬遠される傾向にある。
- 島にんじんは11月中旬～2月が収穫時期である。8月下旬が植え付け。本当においしいのは12月から1月であり、寒くないと糖分が発生しない。
- 出荷時期が限られているため、その時期に一気に市場に出ると、当然価格は低い水準で推移する。今後必要なのは市場価格のコントロールである。冷蔵貯蔵技術が向上しており、3ヶ月は保存できる。出荷調整をすることで、安定した価格での出荷を実践することが必要。琉大と連携して取り組んでいる。
- 仲買人のマージン、価格が上がっていく原因である。
- 6次産業化の推進。加工場等を含めて初期投資は高くなる。
- 今後露地栽培だけでは無理。施設栽培と併せてやっていく農業の仕組み。沖縄は台風の問題もある。
- 初期投資の補助の話。負担比率。行政予算の圧迫。構造改善事業。認定農家
- 農業青年クラブにヒアリングした方がいい。アイデア会議を招集してはどうか。
- マーケティング、プロモーションの必要性。どう実施していくか。
- 今後のヒアリング対象として
  - ・JAの野菜部会、果樹部会、花卉部会、サトウキビ部会 ※JAの営農ビジョンを参照する
  - ・農業青年クラブ。
- 貸農園の可能性はあると思う。読谷村でやっているのだから、確認してみてもどうか。